

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い

in 琵琶湖・淀川流域



2011・国際森林年

2011年は国際森林年です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域」は、滋賀県、京都府、大阪府等と農林水産省が主催する国際森林年記念事業です。上流域の水源の森から、下流域の都市部まで琵琶湖・淀川流域を一体としてとらえた、連続企画を開催します。

国際森林年の日本国内でのテーマは「森を歩く」です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集い」では、「次世代への継承」をキーワードに実施します。森林は、木材などの生産の場であるとともに、水を育み、災害を防ぎ、環境を守り、心を癒すなどたくさんの恵みを与えています。

琵琶湖・淀川流域の森を歩き、森林の恵みや木を活かす知恵を次世代に継承する取組を行います。流域で考えることで、上流域の森林から下流域の都市までがつながり、ともに支え合って生きていることを実感することができます。滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局は、平成17年3月に、琵琶湖・淀川流域の民有林・国有林が連携して森林の保全整備を取り組む覚書を取り交わし、森林環境の保全・整備連絡調整会議として毎年様々な活動を続けています。今年も、国際森林年にちなみ、各府県で市民が参加する行事等をリレー形式で開催いたします。

第1弾 「森を歩く」

びわ湖を支える水源の森林体験ツアー(びわ湖の日30周年)
2011年7月23日(土) 滋賀県長浜市(山門水源の森ほか)

第2弾 「森を学ぶ」

シンポジウム「国産材を活用したヒートアイランド対策」
2011年8月17日(水) 大阪木材会館

第3弾 「森を語る」

野外シンポジウム「森を語る～以森伝心～」
2011年8月27日(土) 京都府立植物園

第4弾 「森をつなぐ」

シンポジウム「未来に向かって、森を活かそう」
2011年10月予定 大阪市内



市民と森林をつなぐ国際森林年の集い in 琵琶湖・淀川流域 お申し込みが必要です



第1弾「森を歩く」 びわ湖を支える水源の森林体験ツアー (びわ湖の日30周年)

豊かな森は、豊富な水をたくわえて私たちに与えてくれます。森と水の深い関わりを確かめながら、琵琶湖・淀川流域の源流である森林を歩きます。

日時: 2011年7月23日(土) 10:00~16:00 ※小雨決行
場所: 山門水源の森(長浜市西浅井町山門)、
長浜市西浅井文化ホール(長浜市西浅井町大浦)

参加費: 無料(弁当持参) **申込みは、右下欄参照**
主催: 滋賀県 共催: 長浜市、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局 後援: 山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会、(財)滋賀県緑化推進会、(社)滋賀県造林公社、(財)びわ湖造林公社

第2弾「森を学ぶ」 シンポジウム「国産材を活用したヒートアイランド対策」

森林は、林業の場でもあります。森林を育て、地球温暖化対策に貢献するとともに、国産材を建築物にうまく活用して、都市にも快適な暮らしをもたらすことができます。新しい活用方法を通じて、「木づかい」を学びます。

日時: 2011年8月17日(水) 13:30~16:30
場所: 大阪木材会館(大阪市西区新町3-6-9)

参加費: 無料
主催: 大阪府、(社)大阪府木材連合会 共催: 国産材を活用したヒートアイランド対策協議会、森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

第3弾「森を語る」 野外シンポジウム「森を語る〜^{いしん でんしん}以森伝心〜」

修験の場としての森、人々の暮らしを支えてきた里山、市民の憩いの場である街なかの緑。様々な形で私たちの心や暮らしと深く関わっている森林について、植物園の木陰で語りあいます。

日時: 2011年8月27日(土) 13:30~16:00
場所: 京都府立植物園(京都市左京区下鴨半木町)

参加費: 無料
主催: 京都府、京都モデルフォレスト協会 共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

第4弾「森をつなぐ」 未来に向かって、森を活かそう

流域を考えると、森と人が近くなります。上流域から下流域までの人たちが世代を超えて森を守り、使い、育てることで、豊かな暮らしと、土地と水も守られます。また、森林は健康、教育の場として注目されており、これからの価値がさらに高まります。未来に向かって森を活かすためにも、次の世代につないでいくことが必要です。

日程: 2011年10月下旬
場所: 万博記念公園内

参加費: 無料
主催: 大阪府、(独)日本万国博覧会記念機構 共催: 森林環境の保全・整備連絡調整会議(滋賀県、京都府、大阪府、林野庁近畿中国森林管理局)、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

